

舞鶴市部活動地域移行News = 第3号 =

舞鶴市立中学校の部活動改革に関するニュースレターをお届けします

部活動の地域移行とは？

- ・「部活動の地域移行」は、国（スポーツ庁と文化庁）が全国的に進めている動きです。
- ・生徒の減少に伴い、以前と同じように部活動ができなくなっている状況があるため、子どもたちがやりたい活動を今後もしていけるようにするための改革です。
- ・舞鶴市では、国の地域移行の実証事業に令和3年度から参加し、取組を進めています。

News 部活動の地域移行に関する実態調査結果を公表しました

- ・部活動に関わる関係者への実態調査を令和5年11月に実施しました。ご協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。
- ・実態調査の結果概要をお知らせします。詳細は実態調査結果報告書をご覧ください。
- ・実態調査の結果を踏まえて、あり方検討会でもご意見をいただき、舞鶴市にとって最も良い部活動の地域移行のあり方や活動計画を策定していきます。



実態調査結果
掲載ページ

◆ 実態調査の結果概要

小学5,6年生

部活動について

小学生の入りたい部活動
→運動部6割、文化部2割
→入りたい部活動の競技・活動は
おおむね学校部活動にある

休日の部活動：小学生の約半数が「活動を
したくない」と回答

中学1,2年生

- 7割以上が部活動に所属
→所属上位：ソフトテニス、陸上、卓球
→学校にないがやりたかった競技の上位は
バドミントンとサッカー
- ・部活動の活動日は週5日が最多
 - ・活動については、「ちょうどよい、満足」と捉えている生徒が多い

小学5,6年生

学校外の活動について

中学1,2年生

回答者の7割が活動中
→スポーツは水泳やサッカーなど中学校
部活動にはない競技が上位
→スポーツ以外では塾のほか、ピアノ、
英会話、習字などが上位

平日の部活動とは別の活動を休日にし
たいと答えた児童が休日にやりたい活
動はサッカー、絵画・工作、バドミン
トン、料理など

回答者の約半数が活動中
→ピアノ、習字など文化的活動が上位

- 【地域クラブ活動について】
- ・実証事業に参加しているのは3割
 - ・参加しなかった理由は「休日は休みたかったから」が最多
 - ・休日の活動が地域クラブ活動になった場合、「参加したくない」が3割



- 小学生の学校外の習いごとは盛んだが、中学校部活動になく、継続できない活動がある
- 小学生・中学生ともに、休日の活動に消極的な姿勢が見られる

中学校部活動について

中学生保護者回答者の子の**9割**以上が部活動に所属。それに加えて学校外の活動をしているのが**約半数**

部活動をして良かったことの上位は
「**友だちがくれた**」
「**体力・身体能力の向上**」

地域クラブ活動について

小学生・中学生の保護者ともに、月謝の妥当な金額として**3,000円までの回答が8割**

地域クラブ活動に期待すること
→**より専門的な指導者による指導**

地域クラブ活動に対する心配ごと
→**送迎や費用面での保護者負担**

学校外の活動について

【小学生】スポーツ活動にかかる月謝は3,000円までが多い
スポーツ以外の活動にかかる月謝はスポーツより高い傾向。ピアノ、習字などが多い
【中学生】ピアノが最も回答数が多く、続いて野球、バレーボール、習字が続く

活動をやめた、もしくはしたことがない理由
→送迎や当番の負担



- 地域クラブ活動のことがよく分からないとする保護者が多い→広報をさらに取り組む
- 送迎や当番、費用面の負担を不安に感じる保護者が多い
- 現在部活動がないが、子どものニーズがある活動を地域クラブ活動にと望む声あり

中学校教員の部活動・地域クラブ活動に対する考え

- ・ 現在部活動顧問として指導していると回答したのは教員回答者の9割
- ・ 活動は週5日が最も多く、休日の指導に9割が従事
- ・ 部活動指導における苦勞として、休日部活動に関する負担が多かった
- ・ 休日の部活動を地域クラブ活動に移行することに回答者の**8割が賛成しており**、平日の活動についても7割が賛成している
- ・ 課題は、「指導者の育成・確保」や「部活動に対する学校と地域の意識の食い違い」



スポーツ団体・文化団体・高等学校の受入に対する考え

【市内のスポーツ団体】（営利団体含む）
回答率：61%（61/99団体）

- 現在中学生を受け入れている団体 34団体
- 指導者人数222人（うち有資格者99人）
- 現在中学生を受け入れている団体《中学校部活動について》
 - ・ 受け入れ可能 : 16団体
 - ・ 課題解決すれば受け入れ可能 : 8団体
- 現在中学生を受け入れていない団体《中学校部活動の受入について》
 - ・ 前向きに検討 : 1団体
 - ・ 課題が解決すれば前向きに検討 : 9団体

【市内の文化団体】（営利団体含む）
回答率：55%（52/95団体）

- 現在中学生を受け入れている団体 7団体
- 指導者人数86人（うち有資格者74人）
- 中学校の部活動について
 - ・ 受け入れ可能 17団体
 - ・ 可否を検討中 9団体
 - ・ 受け入れできない 12団体
- 受け入れる場合の課題
 - ・ 生徒を預かる責任の担保 18団体
 - ・ 活動場所の確保 14団体
 - ・ 活動の財源確保 13団体

【市内の高等学校】
回答率：100%
■地域クラブ活動で期待されることは、「地域のスポーツ・文化の振興につながること」

→学校によるが、課題が解決されれば、高等学校で中学生の活動を受け入れてもらえる可能性あり